【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公表番号】特表2009-529105(P2009-529105A)
【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)
【年通号数】公開・登録公報2009-032
【出願番号】特願2008-557699(P2008-557699)
【国際特許分類】
Ｄ０１Ｈ　5/86　(2006.01)
Ｄ０１Ｈ　5/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０１Ｈ　5/86　Ａ
Ｄ０１Ｈ　5/86　Ｂ
Ｄ０１Ｈ　5/26

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月8日(2010.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ドラフティング領域の出口における圧力ローラー用のカバリングが、外部層と、圧力ローラーのコアに固定された内部層と、から成り、及び前記外部層は、前記内部層よりも薄くそして硬く、及び前記内部層に対して動くことができるように前記内部層をゆるく囲んだ無端状ベルトとして設計されており、及び方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）の上をスライドする紡績機用のローラードラフティング装置であって、方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）の横断面周囲（Ｕ）が、ローラードラフティング装置に牽引されるファイバー材料の平均ステイプル長さよりも長いことを特徴とするローラードラフティング装置。
【請求項２】
前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）の横断面周囲（Ｕ）が、平均ファイバー長さの少なくとも１．５倍であることを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）の横断面周囲（Ｕ）が、ローラードラフティング装置に牽引される最も長い繊維よりも好ましくは僅かに長いことを特徴とする請求項１又は２に記載の装置。
【請求項４】
前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）が、横断面形状が円弧状のスライディング表面（２７，２０３）を有することを特徴とする請求項１～３の何れか１項に記載の装置。
【請求項５】
前記方向変換レール（２，２１，２２，２５）の断面形状が、部分的に円であり、部分的に平坦であることを特徴とする請求項１～４の何れか１項に記載の装置。
【請求項６】
前記方向変換レール（２）の横断面が、短い側が弧状に丸められている長方形を含むこ

とを特徴とする請求項１～５の何れか１項に記載の装置。
【請求項７】
前記方向変換レール（２００）のベルトスライディング表面（２０３）が、ベルトの走行方向に対して横方向に湾曲していることを特徴とする請求項１～６の何れか１項に記載の装置。
【請求項８】
前記方向変換レール（２００）のベルトスライディング表面（２０３）が、その自由端で、縁による境界が形成されていないことを特徴とする請求項７に記載の装置。
【請求項９】
前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）が、ベルト状カバリング（１）がかかっている圧力ローラー（３）の対立側に固定して設けられていることを特徴とする請求項１～８の何れか１項に記載の装置。
【請求項１０】
前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）が、圧力ローラー（３）のシャフト（６５）に対して支持されたホルダー（４，４０）に固定されていることを特徴とする請求項９に記載の装置。
【請求項１１】
前記ホルダー（４，４０）は、圧力ローラーのシャフト（６５）上で自由に回転できる状態で支持されていることを特徴とする請求項９又は１０の何れか１項に記載の装置。
【請求項１２】
前記ホルダー（４，４０）が、頬部（４１；４２）を含み、頬部（４１；４２）は、その受け部（４４）が圧力ローラーシャフト（６５）にまで及んでいることを特徴とする請求項９～１１の何れか１項に記載の装置。
【請求項１３】
前記ホルダー（４０）がストッパー（４３）を含み、ストッパー（４３）は、ホルダー（４０）を所望の操作位置に支持することを特徴とする請求項９～１２の何れか１項に記載の装置。
【請求項１４】
前記ベルト状カバリング（１，１０）は、前記方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）を走行する時には、その曲げ剛性によって、張力が作用することを特徴とする請求項９～１３の何れか１項に記載の装置。
【請求項１５】
前記ベルト状カバリング（１）と接触する方向変換レール（２，２０，２１，２２，２５，２００）の表面（２７，２０３）が、滑りを促進する低摩擦表面を有していることを特徴とする請求項１～１４の何れか１項に記載の装置。
【請求項１６】
紡績機のためのドラフティング装置の圧力ローラーのためのカバリングの外部層として使用される無端状ベルト又はスリーブであって、
前記カバリングは、外部層と内部層とからなり、及び外部層は、内部層よりも薄く、そして前記内部層に対して動くことが可能なように内部層をゆるく囲んでおり、そして、外部層を形成する無端状ベルトは、ベルトの走行方向に施されたヤーンインサートによって、走行方向の延び性が低いものである無端状ベルト又はスリーブにおいて、
無端状ベルト（１０）は、二重になったヤーンインサート（１１，１２）を含み、一方のヤーンインサート（１１）は、第２のヤーンインサート（１２）に対して逆方向に巻かれており、これにより一方のヤーンインサート（１１）のヤーンは、第２のヤーンインサート（１２）のヤーンと交差していることを特徴とする無端状ベルト又はスリーブ。
【請求項１７】
第１の内部層を、管状体とし、そしてヤーンをこの層上に巻き、そして他方のヤーンを、この巻いたヤーンの上に、反対方向に巻き、これによりヤーン層を互いに交差させ、この後に、両方のヤーン層を他の層でカバーすることを特徴とする請求項１６に記載のベ

ルトを製造するための方法。